

世 界 史

(問 題)

2015年度

〈2015 H27093423〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数 字 見 本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

(例) 3825番⇒	万	千	百	十	一
	3	8	2	5	

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。終了の指示に従わない場合は、答案のすべてを無効とするので注意すること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

〔Ⅰ〕 次の文章を読み、設問 1 ～ 5 に答えなさい。

古代オリエント地域の諸文明の影響を受けて、古代ギリシアやその周辺地域でも文明が誕生した。ドイツ人のシュリーマンは、A の作とされる叙事詩『イリアス』と『オデュッセイア』に謳われた戦争が、単なる創作ではなく、古代に実際にあったものであると信じ、1870～73年にかけ実施された発掘によって、小アジアの北西部に位置する古代のB 遺跡を発見した。そして1876年には、叙事詩に謳われた戦争でギリシア連合軍の総大将であったアガメムノンの居城とされたペロポネソス半島のC 遺跡を発掘し、黄金のマスクをはじめ数多くの黄金製品を発見している。さらに1900年にイギリスの考古学者D が、ギリシア南部のクレタ島のE 宮殿を発掘した。こうした一連の発掘調査によって、「エーゲ文明」の実態が次第に明らかになっていった。

設問 1 空欄 A にあてはまる人名は何か。次のア～エのなかから該当するものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ソフォクレス イ ヘシオドス ウ ホメロス エ タキトゥス

設問 2 空欄 B にあてはまる遺跡の名は何か。次のア～エのなかから該当するものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ペルガモン イ サモス ウ トロイア エ エフェソス

設問 3 空欄 C にあてはまる遺跡の名は何か。次のア～エのなかから該当するものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ピュロス イ ティリンス ウ ミケーネ エ アルゴス

設問 4 空欄 D にあてはまる人名は何か。記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 5 空欄 E にあてはまる宮殿名は何か。記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問 1 ～ 5 に答えなさい。

ギリシア人とローマ人の国家は、現在のイランを中心とする地域に成立した大帝国と抗争を繰り返した。東西の国家の最初の大規模な衝突は、ペルシア戦争^Aであった。この戦争はアテネを中心とするギリシア人の都市国家とアケメネス朝ペルシアとの間で起こった。最終的にギリシア側の勝利で終わったこの戦争については、ヘロドトス^Bがその詳細を書き残している。マケドニアのアレクサンドロス大王は、東方大遠征を行い、アケメネス朝を滅ぼした。大王の死後、セレウコス朝が旧アケメネス朝の領土の大半を継承したが、やがてパルティア^Cによってユーフラテス川以東の領土を奪われた。パルティアは、ローマとアルメニアやメソポタミア地方を巡って争った。ローマ皇帝の中には、アレクサンドロス大王に憧れる者もあり、このことがローマのパルティア侵攻の原因ともなった。3世紀にパルティアを倒したササン朝^Dもローマ帝国との戦争をたびたび行い、両者の争いは、ササン朝が642年に E の戦いでイスラーム勢力に事実上倒されるまで続いた。

設問 1 下線部 A の戦争について述べた下記の文ア～エのうち、誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア マラトンの戦いでは、ギリシア側が勝利した。
- イ サラミスの海戦では、ギリシア側が勝利した。
- ウ マラトンの戦いでは、ミルティアデスがギリシア側を指揮した。
- エ サラミスの海戦では、ペイシストラトスがギリシア側を指揮した。

設問 2 下線部 B の人物について述べた下記の文ア～エのうち、誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 前 5 世紀の人である。
- イ ミレトスの出身である。
- ウ 物語風の歴史叙述を行った。
- エ 『歴史』を著した。

設問 3 下線部 C の国家の中国史料での呼び名を漢字で記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 4 下線部 D に関連して、260年にシャープール 1 世の捕虜となったローマ皇帝の名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 5 空欄 E にあてはまる地名として正しいものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア アンカラ イ ザマ ウ ニハーヴァンド エ アルベラ

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問 1 ～ 4 に答えなさい。

1453年、オスマン帝国の A がビザンツ帝国を滅ぼした。

その後、東方教会世界におけるロシアの重要性が増していった。モスクワ大公国のイヴァン 3 世は、ビザンツ最後の皇帝の姪ソフィアと結婚した。16世紀前半には、モスクワは「第3の D 」と主張された。

設問 1 空欄 A にあてはまるスルタンの名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 2 下線部 B に関係する下記の文のうちで誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 『ローマ法大全』が6世紀に編纂された。
- イ ハギア＝ソフィア聖堂が7世紀に建立された。
- ウ 聖像禁止令が8世紀に出された。
- エ プロノイア制が11世紀以降にもちいられた。

設問 3 下線部 C の事績でないものを下記の文のうちから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 東北ロシアを統一した。
- イ モンゴルの支配から脱した。
- ウ ツァーリの称号をもちいた。
- エ モスクワに総主教をおいた。

設問 4 空欄 D にあてはまる語を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔Ⅳ〕 下に掲げる18世紀におけるポーランド分割時のヨーロッパ東部の地図を参照しながら、設問1～7に答えなさい。ちなみに、隣国列強による三度におよぶポーランド分割に際し、それぞれ割譲された地を、第1回分割時によるものをⅠ、第2回分割時によるものをⅡ、第3回分割時によるものをⅢと記している。



設問1 北方戦争（1700－21）に勝利したロシアは、その領土を西に拡大し、戦時中に建設され、首都となった都市は「西欧への窓」と称された。その地の位置を、地図中の記号で選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア a イ b ウ c エ d

設問2 マリア＝テレジアの広大なハプスブルク領の継承をめぐってオーストリア継承戦争（1740－48）が起こった。その戦争に参戦しなかった国はどれか、以下のなかからその国名を一つ選んで、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア イギリス イ スウェーデン ウ スペイン エ フランス

設問3 ポーランド分割に関わる次の文章のうち、誤りのあるものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ポーランド分割は、1772年、1793年、1795年の3回にわたって行われた。
- イ マリア＝テレジアは、第1回のポーランド分割に参加した。
- ウ ポーランドは絶対王政の破綻から、列強の干渉を招き、分割の憂き目にあった。
- エ 分割により消滅したポーランド国家は、第1次世界大戦後に外国支配から脱し、独立した。

設問4 ロシアは17世紀末までオスマン帝国が支配していた地図中の記号X海に進出した。X海の名称を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 オーストリア継承戦争の結果、プロイセンがオーストリアから奪った地方は、地図中記号Yの地である。その地の名称を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問6 3回にわたるポーランド分割は、ロシア皇帝が中心的役割を果たした。その人物名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問7 地図中の記号Zは要塞都市ブラーツラウの位置にあたるが、そこは現在、キエフ市を首都とする国家の版図内にある。その国名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔V〕 次の文章を読み、設問1～6に答えなさい。

東南アジア～東アジアの沿海には、「大航海時代」以降にヨーロッパ勢力が貿易や植民地支配の拠点とした海港がいくつかある。**A**，マカオ，マニラ，バタヴィアなどである。

マカオの歴史は、16世紀にポルトガル人が明朝からこの地での居住を認められたことに始まる。ポルトガルはここを根拠地として対中国貿易を展開したが、17世紀を迎えるころから、本国の弱体化と、オランダ東インド会社との競争によって、ポルトガルの勢力は著しく後退する。マカオ自体は、1622年のオランダの攻撃を撃退したが、1641年には**A**がオランダに占領され、17世紀後半には、**A**海峡以東でのポルトガルの支配地は、マカオ以外はほぼ**B**島のみとなっていた。

中国との関係に目を向けると、清朝の時代になっても、ポルトガル人は引き続きマカオでの居留を認められていた。しかし、遷界令によって対中国貿易は中断し、その後遷界令が解除されて貿易が再開されても、ヨーロッパ諸国の貿易船が直接広州に來航するようになったため、マカオの役割はさらに低下した。一方、アヘン戦争後の南京条約によってイギリスが割譲を受けた香港は、シンガポールとならんで、アジア東南部におけるイギリスの拠点として発展した。

第二次世界大戦後、旧植民地が相次いで独立した後も、マカオや香港は植民地のままであったが、文化大革命が終わって中国が改革・開放政策に転ずる中で、返還交渉が進められ、1997年に香港が、1999年にマカオが中国に返還された。なお、**B**島は、19世紀にオランダとの間で分割され、東部のみがポルトガル領として残っていたが、1976年にインドネシアがこの地域を併合したのに対して、独立運動が高まり、紛争となった。

設問1 空欄Aにあてはまる地名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問2 空欄Bにあてはまる地名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問3 下線部Cに関連して、遷界令の施行からその解除までの時期に起こったできごとを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 軍機処の設置 イ 三藩の乱の勃発 ウ ネルチンスク条約の締結 エ 地丁銀制の実施

設問4 下線部Dの締結後、清朝は他の諸国とも類似の条約を結んだ。このうち、マカオの領域内で調印されたアメリカとの条約の名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問5 下線部Eに関する記述として、適切なものを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 1819年にイギリスがバンテン王国から獲得した。
イ 1942年に日本軍が攻撃を加えたが、占領できなかった。
ウ 1957年にマラヤ連邦の一部としてイギリスから独立した。
エ 1965年にマレーシアから分離独立した。

設問6 下線部Fの時期の政治・経済情勢に関する記述として、適切なものを次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 毛沢東の死後、国家主席に就任した周恩来は、「四人組」を逮捕し、文化大革命を終結させた。
イ 1980年代には、鄧小平の指導下で「社会主義市場経済」が唱えられ、人民公社が解体されるなど、経済面での改革が進んだ。
ウ 鄧小平の死後、1989年に政治的民主化を求める運動が北京を中心に広がったが、弾圧された。
エ 台湾では、1980年代から民主化が進み、1996年におこなわれた初の総統直接選挙で民進党の陳水扁が当選した。

〔Ⅵ〕 次の文章を読み、設問 1 ～ 6 に答えなさい。

第一次世界大戦は、当初多くの人びとが予想したのとは異なっており、膨大な犠牲を強いる長期戦となり、ヨーロッパ諸国に大きな打撃を与えた。戦勝国においても経済や社会が不安定になり社会主義勢力やファシズム勢力が進出して、イギリスでは初めて労働党内閣が成立し、イタリアではファシスト党を率いるムッソリーニが権力を握った。

敗戦国ドイツはいつそう不安定な状態だったが、1923年という危機の年を乗り切ると、しだいに安定化の方向に向かい、それにともなって国際政治の面でも戦勝国と敗戦国とのあいだで協調的な傾向が強まった。いわゆるロカルノ条約がその代表例であり、ヨーロッパにとどまらない例としては不戦条約などがある。しかし、世界恐慌の勃発という新たな深刻な打撃によって、ふたたび世界大戦へと向かう道筋がつくり出されていくことになった。

設問 1 下線部 A の戦争に関する下記の説明のうち、誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア この戦争は、オーストリア＝ハンガリーがセルビアに宣戦布告したことから始まった。
- イ イギリスはドイツ軍のベルギー侵攻を理由に参戦した。
- ウ 日本は日英同盟を理由に参戦した。
- エ アメリカはドイツがルシタニア号を撃沈した直後に参戦した。

設問 2 下線部 B の政党の母体となった組織の一つで、ウェッブ夫妻が指導的な役割を果たした組織の名称を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 3 下線部 C の人物に関する下記の説明のうち、誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 当初は社会党員として活動していたが、第一次世界大戦中に除名された。
- イ 首相に任命されると、その年のうちに議会の停止して一党独裁体制を確立した。
- ウ 第二次世界大戦では、フランスが降伏する直前に参戦した。
- エ 失脚したのち、ドイツ軍に救出され、ドイツ軍占領地区に傀儡政権をつくった。

設問 4 下線部 D の年に起こったのではない出来事の一つを選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア ドーズ案の成立 イ ルール占領の開始 ウ レンテンマルクの発行 エ ミュンヘン一揆

設問 5 下線部 E の条約に関する下記の説明のうち、誤りを含むものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア フランスのブリアン外相とアメリカのケロッグ国務長官が主導して成立した。
- イ 1928年にパリで当初15カ国が調印し、その後さらに多数の国が参加した。
- ウ 戦争を国家の政策の手段とすることが禁止されたが、自衛戦争は認められた。
- エ 日本は、中国大陆での軍事行動が制約されるのを恐れて参加しなかった。

設問 6 下線部 F が起こったときのアメリカ大統領の所属政党名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

〔Ⅶ〕 次の文章を読み、設問 1 ～ 6 に答えなさい。

パレスチナにおいては、イスラーム勢力の統治下で、長らく^Aキリスト教徒やユダヤ教徒との間に一定の共存がみられた。例えば、オスマン帝国統治期の^Bイェルサレムにはこれら三宗教の信徒が居住しており、宗派を超えた同業者組合も存在していた。しかし、ヨーロッパにおける国民国家の成立やユダヤ人排斥を背景として、ユダヤ人の間に^Cパレスチナへの移住とそこでの建国を目指す運動が次第に広がっていった。そして、1920年代以降にはユダヤ人によるパレスチナ入植が急増したが、そこにはアラブ系の人々が住んでいたため、多くの軋轢を生みだした。また、1940年代には、^Dイギリスによるパレスチナの委任統治に対して、ユダヤ人側による激しい闘争もみられた。ナチス＝ドイツによる大量虐殺などを経て、第二次世界大戦後、ヨーロッパなどに安住の地を見出せなくなったユダヤ人がパレスチナへ流入する事例は、さらに激増した。

1947年、国際連合はパレスチナをユダヤ人国家とアラブ人国家に分割する決議を採択したが、これは当時の人口比に対して、アラブ人側に著しく不公平なものであり、決議の投票では33カ国が賛成したが、中東諸国に加えて、インドやアルゼンチンなど23カ国が反対もしくは棄権へ回った。このうち、イスラエルは建国を宣言し、周囲のアラブ諸国との間に戦争が勃発したが、その結果、イスラエルの支配領域はさらに拡大した。イスラエル建国前後に生じた大量のパレスチナ難民は、いまだに帰還や賠償を実現できておらず、^E幾度にもわたる戦乱・紛争を経て、パレスチナにおける共存をめぐる懸命な模索が続いている。

設問 1 下線部 A の人々は、イスラーム勢力の統治下で、特別な納税によって一定の庇護を与えられていた。その税の名として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア ジンミー イ ジズヤ ウ イクター エ マワーリー

設問 2 下線部 B の都市について述べた文として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア サラーフ＝アッディーン（サラディン）は、イェルサレムを奪回した。
- イ ユダヤ教徒は、イェルサレムに岩のドームを建設した。
- ウ イェルサレム王国は、アイユーブ朝によって滅ぼされた。
- エ ウマイヤ朝は、イェルサレムを首都とした。

設問 3 下線部 C の運動を何というか。この運動の名を記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 4 下線部 D のイギリスは、第一次世界大戦勃発後、アラブ人に独立を約束する一方で、ユダヤ人に対してはパレスチナにおける「民族的郷土」の建設を支持し、フランス・F とはオスマン帝国領を分割する密約を結んでいた。この空欄 F にあてはまる国名を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 5 下線部 E に関連して述べた次の文のうち、誤っているものを一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア パレスチナ解放機構（PLO）は、イスラエルとパレスチナ暫定自治協定（オスロ合意）を結んだ。
- イ エジプトのサダト大統領は、イスラエルとの平和条約に調印した。
- ウ イスラエル占領下のアラブ人は、インティファダと呼ばれる抵抗運動を行った。
- エ 第3次中東戦争中、アラブ石油輸出機構（O A P E C）は、石油戦略を発動した。

〔Ⅷ〕 次の文章を読み、設問 1 ～ 5 に答えなさい。

19世紀後半のフランスでは、新興の市民層の台頭、産業技術の発達などにより、人びとの生活が大きく変貌した。芸術家たちは鋭い観察力をもって、新しい社会とそこに生きる人びとの様子をとらえている。パリ南東の村バルビゾンを拠点に、農民たちの生活を描いたのは **A** である。彼の代表作である図 1 には、近代化されつつある農村の風景を背景に、昔ながらの農作業をする農民たちの姿が堂々と描き出されている。一方、図 2 は、都市の労働者たちを主題にしたマネの作品である。ナポレオン 3 世は 1852 年政権につくと、セーヌ県知事に **B** を起用してパリの都市大改造を計画したが、この絵ではその後街角で多く見られるようになった工事の様子がうかがえる。マネが確立した近代的主題と自由な描法による新しい画風は若い画家たちを魅了し、1870 年代に、**C** と呼ばれる芸術家のグループが形成され、革新的な作品を生み出した。その中心的画家モネは、図 3 に見られるように、鉄道の発達をもたらした郊外におけるレジャーや暮らしの情景を、**D** により描いている。

世紀末になると、こうした西洋の近代社会を批判し、図 4 に見られるように、タヒチで未開社会を題材に描いた **E** らが現れ新たな画風を展開し、20 世紀美術へ大きな影響を与えた。

設問 1 **A** にあてはまる画家の名前を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 2 **B** にあてはまる人名を次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア マクマオン イ ルイ＝ブラン ウ オスマン エ ティエール

設問 3 **C** にあてはまる言葉を、記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

設問 4 **D** にあてはまる表現を次のア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア 厳格な遠近法 イ 調和のとれた古典的表現 ウ 繊細で優美な装飾性 エ 豊かな外光表現

設問 5 **E** にあてはまる画家の名前を、ア～エから一つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア クールベ イ ルノワール ウ ドーミエ エ ゴーガン

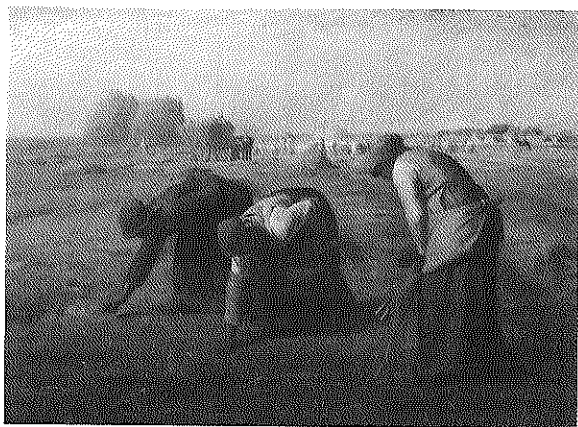


図1 《落ち穂拾い》1857年

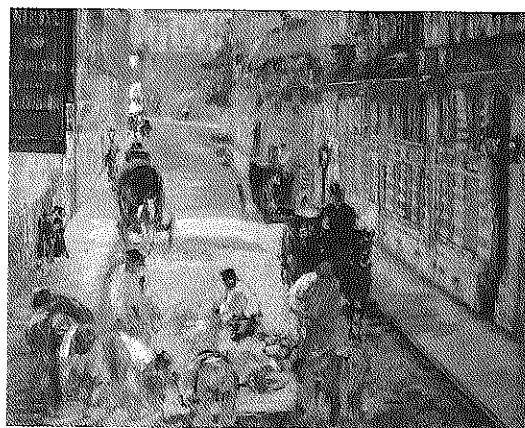


図2 《モニエ通りの舗装工事》1878年



図3 《日傘をさす女性》1875年

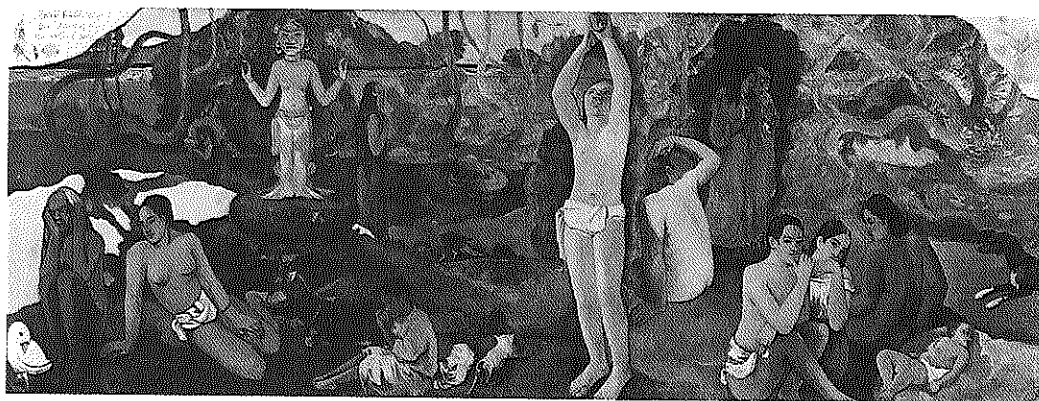


図4 《我々はどこから来たのか、我々は何者か、我々はどこへ行くのか》1897-98年

〔以下 余 白〕